

高齢者支援からみた まちづくり



令和2年9月18日

草津市高穂地域包括支援センター

主任介護支援専門員 井上直美

草津市高穂地域包括支援センターとは

- ・介護・福祉・健康・医療などのことで悩んだ時や、どこに相談すれば良いか分からない時などの相談窓口として、各市町村に設置された高齢者の相談窓口です。
- ・地域で暮らす高齢者のみなさんを、さまざまな方面から支援するために、平成25年7月、中学校区毎に、委託型の地域包括支援センターとして設置されました。



どんな人が業務にあたっているの？

地域包括支援センターでは、主任ケアマネジャー、保健師、地域経験のある看護師、社会福祉士などが中心となって、高齢のみなさんの支援を行っています。それぞれ専門分野が異なりますが、互いに連携を取り合っ
て、「チーム」として、総合的に支援を行っています。



主任ケアマネジャー



保健師



社会福祉士

どんな業務をしているの？

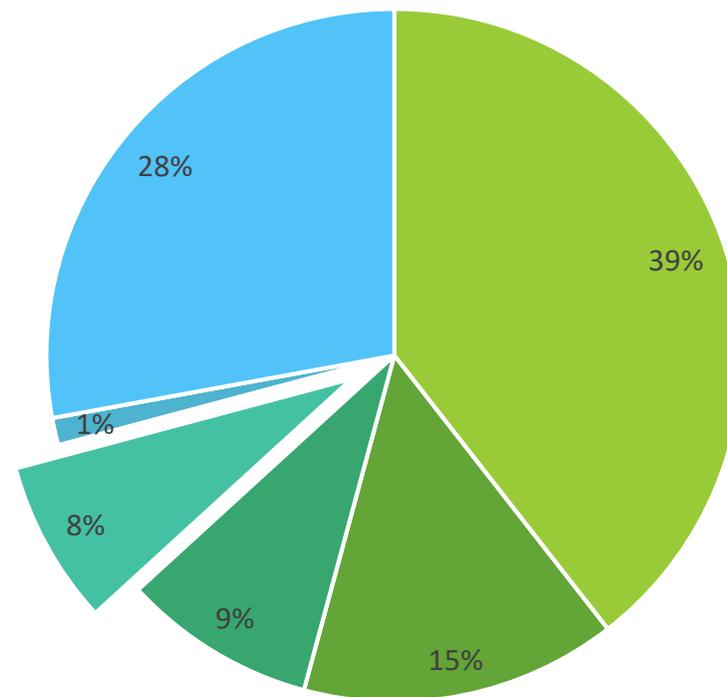
- ・ 総合的な介護や福祉に関する相談
- ・ 認知症に関する相談（認知症施策推進事業）
- ・ 介護予防のケアプラン作成・マネジメント
- ・ ケアマネジャーへの後方支援
- ・ 権利擁護
- ・ 高齢者虐待



どんな相談があるの？

《令和元年度の相談件数》

相談全数	延べ4,012件
①介護に関する事	1,584件
②権利擁護に関する事	590件
③医療に関する事	361件
④認知症に関する事	307件
⑤介護予防に関する事	51件
⑥その他	1,119件



- ①介護に関する事
- ②権利擁護に関する事
- ③医療に関する事
- ④認知症に関する事
- ⑤介護予防に関する事
- ⑥その他

どこにあるの？

草津市高穂地域包括支援センター

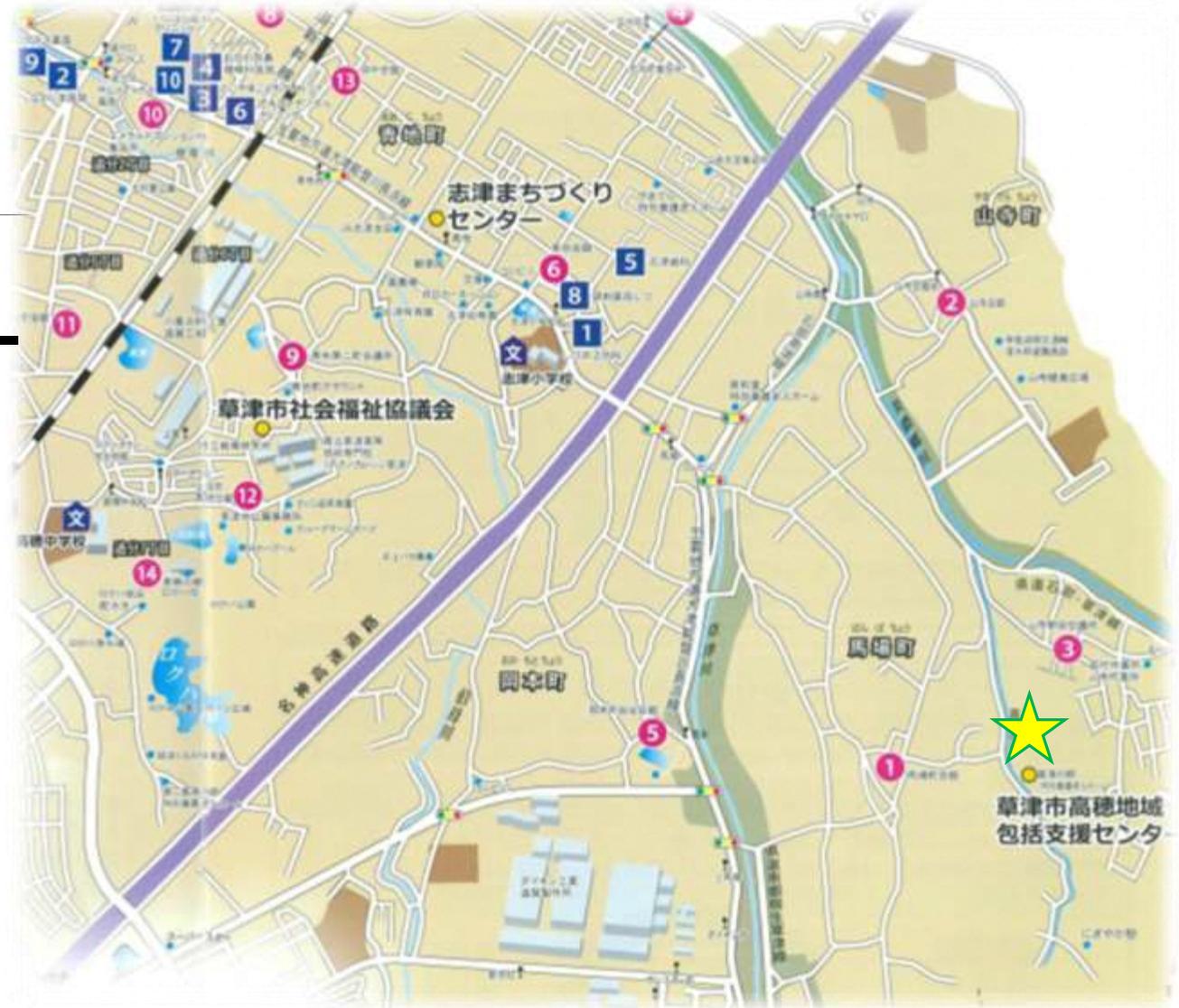
住所：草津市山寺町837番地

(特別養護老人ホーム菖蒲の郷内)

電話：077-561-8143

FAX：077-561-9524

担当学区：志津、志津南、矢倉



特別養護老人ホーム
高瀬の郷別館

草津市高瀬
地域包括支援センター

もの忘れ
相談窓口



草津市内の高齢者人口

令和2年4月30日時点

総人口	135,664人
高齢者人口	30,007人
うち後期高齢者人口	14,516人
高齢化率	22.1%
うち後期高齢化率	10.7%
要支援・要介護認定者数	5,082人
認定率	16.7%
一人暮らし高齢者世帯数	4,195世帯
高齢者のみの世帯数	6,008世帯



高穂中学校区の高齢者人口

令和2年4月30日時点

総人口	30,092人	22.1%
高齢者人口	6,025人	20.0%
うち後期高齢者人口	2,880人	19.8%
高齢化率	20.0%	
うち後期高齢化率	9.6%	
要支援・要介護認定者数	957人	18.8%
認定率	15.6%	
一人暮らし高齢者世帯数	627世帯	14.9%
高齢者のみの世帯数	1,327世帯	22.0%

若い世代の方の転入も多く、人口増となっている学区です



高齢になると…

いろいろなことに困りごとが出てくる

- 足や腰が痛くて、歩きづらくなった
- 今まで一人で行っていた買い物や通院に行けなくなった
- 何をすることもおっくうになって、家事も十分に出来なくなった
- ごみ出しなどが出来なくなった
- 家族が遠方で、なかなか何かあってもすぐ来てもらえない
- 定年まで仕事をしていたので、地域とのつながりが無い



どうすれば困りごととは解決するの？

生活、病気、家族のこと、親のこと、金銭面の困りごとなど、
悩みや、心配はたくさんあるけれど、

「やっぱり自分の家がいい」

「住み慣れたところで長く暮らしたい」

という声を多く聞きます。



住み慣れた地域で暮らし続けたい！

要介護認定者
の増加

高齢化の進展

でも現実には…

認知症
高齢者の増加

独居・高齢者
夫婦世帯の増加

支え手の減少



高齢者の困りごとを 地域みんなで考える

小学校区内の地域の方、医療、福祉、介護、行政の関係者があつまり、学区の高齢者の課題と解決方法について話し合い、住み慣れた場所で安心して暮らし続けていけるしくみを考え、発信・実践していく場として

「志津学区の医療福祉を考える会議」
が立ち上がりました。



「志津学区の医療福祉を考える会議」 にて課題を共有

高齢者が地域で困っていることって
なんだろう？



志津学区の課題

地域医療の仕組みが
わからない、
家での看取りが心配

介護の仕組みが
わかりにくい

高齢になると日常生活
の困りごとの解決がで
きない人が増えている

認知症高齢者が孤立
しがちになっている

歩いて行けるところ
に集える場所がない

交通の不便さ
一人で出かけることの
できない人をどう支えるのか

志津学区の方の思い



『誰かとつながっていれば、困った時には、
必要な相談にのってくれる、誰かが話を聞いてくれる、

向こう三軒両隣の気持ち、お互い様の気持ちが皆さんに広がっていけば、
安心して暮らせる志津学区になるのでは』という意見が多くありました。

ちょっと心配、困ったなあという時に、気軽に話しが出来る関係から、

早めの相談、解決につながるのではとのことから、

まず出来ることからやってみよう！となりました。



志津学区の取り組み

医療

介護

生活

認知症

地域支援

交通

資源マップ
志津のあんしん
つながりノート